

仙白園プロジェクト

通信 No. 48



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクティ

4月15日に今年度第1回目の活動を行いました。今年度の活動計画について話し合った後、畑を耕して、じゃがいもと枝豆の種を植えました。今年度から、畑を耕すために、電動耕運機を準備したので、昨年度よりも楽に耕すことができました。改めて、農業の大変さを実感することができました。今年度の活動で特に力を入れて頑張りたいところが2つあります。1つ目は、仙白園をより多くの人たちに知ってもらう活動です。仙白園の由来や、仙台白菜について知ることができるミニ記念館的なものを作りたいと考えています。2つ目は、自分たちだけでなく、他団体との連携により、昨年度以上に、多くの人たちと関わる機会の創出をしていきたいと考えています。



燃えるぜ！
今年の収穫量は、倍増だ！



正確に測りながら、じゃがいもを植えました。



ハクティ

ハクリン

次回の活動は、4月29日(土)に、「野々島」に出かけていくイベントです。明るく元気に頑張りましょう！

仙台市若林区中央市民センター
TEL: 022-282-1173
FAX: 022-282-1180

仙白園プロジェクト 通信No. 49



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクタイ

4月29日(土)に「白菜のルーツを探る旅」を開催しました。仙台白菜のふるさとである松島湾に浮かぶ野々島を訪ねました。「なぜ、白菜のふるさとが島なの？」白菜の仲間であるナタネ・カブ・コマツナなど、いろいろな植物と交配してしまうと、純粋な白菜ではなくなってしまい、結球した白菜にはならないため、交雑しないように島で種を作ったのが、始まりだからです。そうした仙台白菜始まりの地を仙白園メンバーで訪れました。当日は、仙白園メンバーだけでなく、たくさんの参加者もいたので、総勢100人ほどの団体になりました。当日は、晴天にも恵まれ、菜の花(白菜)が辺り一面にきれいな花を咲かせていました。参加者の中には、「白菜の花とは思えない。」などの感想を持った人もいました。ほとんどは、花を咲かせる前に白菜として収穫して食べてしまうので、花を咲かせた白菜の姿を見た人は少ないようでした。

より多くの人たちに、仙白園(養種園)の由来や、仙台白菜について伝えるという活動の大切さを確認し、仙白園メンバーも白菜のルーツを再確認したよい旅となりました。



早く島に着くのが楽しみだな!



わたしたちは、仙白園メンバーです。みんなで楽しく仙台白菜の歴史を学びましょう!



天気も菜の花も最高でした。楽しい白菜のルーツを訪ねる旅となりました。



仙白園プロジェクト

通信No. 50



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクタイ

6月17日(土)に梅雨の時期に向けての畑の整備に取り組みました。今回は、仙白園の参加者に加え、チャイルドボランティア(チャボ)にも協力してもらいました。

4月に植えたジャガイモや枝豆の生長もさることながら、雑草の伸びも著しく成長していました。「雑草は、種をまいたわけではないのに、ものすごい数に増えるんだね。」など、話し合いながら草取りを頑張りました。7月30日の収穫祭に向けて、夏の暑さに負けないで、元気に大きく生長してほしいです。



たくさん生えているな~!



たくさん抜きました!
袋いっぱいだ!

きれいになりました!



わたしたちは、チャボのメンバーです。
みんなで明るく元気にお手伝いします!



ハクタイ

仙台市若林区中央市民センター
TEL 022-282-1173
FAX 022-282-1180

仙白園プロジェクト

通信No. 51



ハッリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクティ

7月30日（日）に仙白園と市民センター共催事業の「じゃがいもを掘って食べちゃおう！」が、行われました。前日の強い雨に加えて、朝から降雨が心配される中、仙白園メンバー、申し込みのあった親子12組の参加に加え、今回も、チャイルドボランティア（チャボ）にも協力してもらいました。

4月に植えた4種類のジャガイモ（オオシロ、アンデスレッド、メイクイン、キタアカリ）と枝豆が収穫の時期を迎えました。参加者全員で大きく育ったじゃがいもを掘り当てるべく、懸命に土を掘り返しました。「あった〜！」、数センチも掘らないうちに、土の中からゴロゴロとした握りこぶしよりも大きなじゃがいもをたくさん見つけることができました。「アンデスレッドって、皮が赤いジャガイモなんだね。」「もう、芽が出ているジャガイモもあるね。」「1個のジャガイモから、10個以上もとれるんだね。」など、子どもたちの思い思いの感想が聞かれました。

「こっちにもある。」「すご〜い。」「またあった。」と、1人で30個以上も見つける子もいました。見守っていたお父さん・お母さんもいてもたってもいられずに、いっしょにジャガイモ掘りに参加しました。総勢30人以上で掘ったので、30分ほどで、買い物かごで4個分のじゃがいもを掘ることができました。



ジャガイモ掘りの後に、冬の収穫祭に向けて、白菜の種まきをしてもらいました。「白菜の種って、ものすごく小さいんだね。1mmくらいの小さい種なのに、サッカーボールくらいの大きさになるんだね。」と、白菜の種を見たことがなかった子どもたちがほとんどでした。

今回、「オリンピア」、「秋の祭典」、「郷秋」という品種の白菜の種をまきました。

「冬に採れる白菜って、夏に種をまくんだね。」「おいしい白菜が採れるといいね。」など、感想を話し合いながら、活動しました。



活動の最後に、じゃがいもの試食と、仙白園のPRを行いました。

現在、若林区役所や文化センターがあるところに、かつて、伊達邦宗伯爵が、東北の農業振興のために様々な野菜を育てていた「養種園」という農場があった場所であることや、仙台白菜発祥の地であることなど、「養種園」の歴史について学びました。

子どもたちからは、「今まで知らなかった歴史や野菜について、知ることができたり、おいしくジャガイモを食べることができたりしたので、とても楽しかったです。」という感想が多く聞かれました。

「冬の収穫祭にもぜひ参加したいです。」など、早くも次のイベントを楽しみにしている参加者もいました。

参加者全員が笑顔になれるよい収穫祭になりました。

仙白園プロジェクトでは、仙白園での活動を通して、仙台白菜発祥の地としての歴史と、食を通じての地域交流を図ることができればいいと思います。

今後こうした企画をどんどん考えて、多くの方々に参加してもらえればと思います。



平成 29 年 8 月 26 日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信 No. 52



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



8月26日(土)の活動は、農業園芸センター市民農園において、農業園芸センター・全農・明成高校高橋先生、仙白園プロジェクトメンバーの4者で連携し、そして、チャイルドボランティア「チャボ」にも協力してもらい、「仙台白菜プロジェクト」の白菜の苗植えイベントを行いました。イベントでは、新聞の告知で市民農園に来場した約120名の一般参加者の方々に、仙台白菜の歴史や養種園についての講話の後、白菜の苗の植え付けを行いました。事前の7月30日に種まきをして作っておいた苗を、市民農園の一角に植えていただきました。当日は、朝までの土砂降りの雨の影響、畑が水田のようになり、ぬかるんだ泥に足を取られながら、転びそうになる場面もありましたが、チャボのメンバーを中心として、仙台白菜の原種である松島純2号と秋の祭典という品種を2種類の植え付け作業を行いました。植えつけられた白菜は、11月11(土)、12日(日)に予定されている収穫祭イベントで、来場者の方々に試食してもらおう予定です。順調に収穫することができるように、大きく生長してほしいと思います。午後から、仙白園の畑にも、白菜の植え付けを行いました。仙白園の畑も、この夏の長雨のために、どろどろの土になっていましたが、少しずつ土を掘り起こし、うねを作り、植え付けを行いました。日照不足のせいか、白菜の苗は、例年よりも育ちが遅く、小さいものが目立ちましたが、この後、12月の収穫まで、市民農園に植えた苗に負けず、大きく生長してほしいと思います。収穫するのが楽しみです。



仙台白菜プロジェクト定植交流会

日時：平成 29 年 8 月 26 日 (土) 10:30 ~
場所：農業園芸センター みどりの社

養種園から始まって、現在は、仙白園として活動しています。

仙台白菜プロジェクト定植交流会

平成 29 年 8 月 26 日 (土) 10:30 ~
農業園芸センター

仙台白菜と言えば、養種園、農業園芸センター、沼倉吉兵衛は、欠かせません。

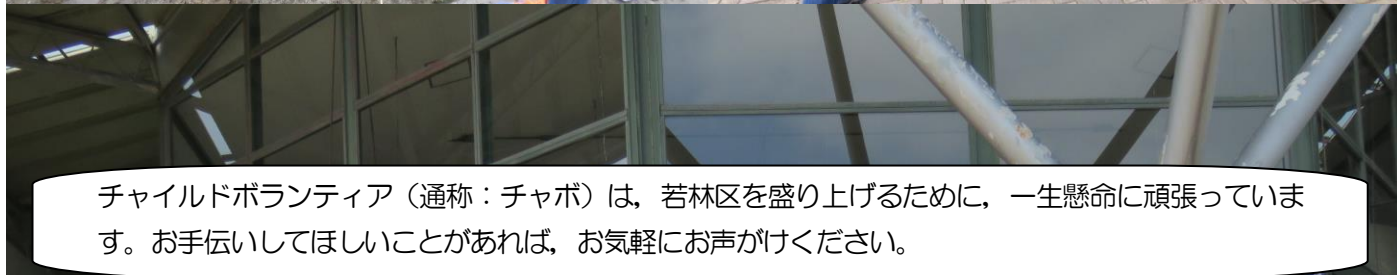
畑の土に足を取られながら、白菜の苗を植えました。まるで、田植えの様でした。



これからも、仙台白菜を
全国に広めていきましょ
う。



3種類の白菜の苗をプレゼントし
ています。どうぞ！



チャイルドボランティア（通称：チャボ）は、若林区を盛り上げるために、一生懸命に頑張っています。お手伝いしてほしいことがあれば、お気軽にお声がけください。



チャボのみなさんのおかげで、イベントが大
変盛り上がりました。どうもありがとう！



12月9日（土）の仙白園クリスマス会の時までには、順調に育って、おいしいなべを作ることができればいい
と思います。たくさんの地域のみなさんやチャボ、ジュニアリーダーの参加をお待ちしています。

仙白園プロジェクト

通信 No. 53



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



10月9日（月）の活動は、昨年度からの新しく取り組んできたワカチュウ子どもランドでのブース「ワカチュウカフェ」の運営でした。ワカチュウカフェでは、来場した参加者のみなさんに、畑で収穫したいもを茹でて無料で提供しました。

当日は、若林区中央市民センターの新別棟ではじめてのイベントということもあり、たくさんの来場者がありました。準備したさつまいもとじゃがいもが全て完売になるほどなど、「ワカチュウカフェ」だけでも、438名の来場者があり、大盛況でした。朝から、いもをゆでて準備していたもののオープンと同時にたくさんの来場者がやって来て、ゆで上げるのが間に合わないほどでした。けれども、仙白園メンバーは、昨年度までの経験を生かし、スムーズに対応することができました。調理したり、呼び込みをしたり、来場者を案内したりと、準備・運営で大忙しの1日でしたが、「来場者の笑顔が、仙白園の源です。」（仙白園若者談）と、疲れも見せず、熱心に活動しました。

次の12月9日（土）の仙白園クリスマス会に向けてのPRも忘れずに取り組みました。次回もたくさんの来場者に喜んでもらえるように、仙白園の目玉である白菜を育てながら、協力して準備を進めていきたいと思えます。



みなさ～ん、こんにちは～！
ワカチュウ子どもランドが始まります！
おいしいいもを準備していますよ。



畑で採れたサツマイモが大人気、開始1時間で品切れに！調理室に人が入りきれない！
「いそがし！いそがし！」



アツアツのじゃがいも・さつまいもおいしいね！おかわりしようかな？
あわてないでゆっくり食べてね！



「ワカチュウカフェオープンです！」
たくさんの方のみなさんの仙白園参加、お待ちしております～す。（担当者：心の声）

平成29年11月11日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

仙白園に新メンバーが仲間入りです。



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



11月11日(土)の活動は、8月に農業園芸センターの市民農園に植えた仙台白菜の収穫でした。当日は、養種園と仙台白菜についての学習をしてから、実際に、参加者が1人1つの白菜の収穫に取り組みました。苗を植えてから3カ月が経ち、一つ一つの白菜が丸々と大きく育った白菜を収穫し、参加者全員が大事そうに抱え、秋の収穫を喜び合いました。その後には、新鮮な白菜を使った白菜スープのお振る舞いがあり、おなかいっぱい食べて、参加者全員満足そうでした。来月2日(土)の漬け物づくりと9日(土)の仙白園クリスマス会に向けてのPRも忘れずに取り組みました。次回は、若林区中央市民センターでもたくさんの来場者に喜んでもらえるように、会の準備を協力して進めていきたいと思ひます。



大きいなあ！
「どれにしようかな？」



チャイルドボランティアも
お手伝いします。



収穫したての白菜で作ったスープは、最高で〜す。



おいしい！仙台白菜！みんな大好きです！

仙白園プロジェクト

通信No. 55



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



12月 2日 (土) の活動は、12月9日 (土) の仙白園の1番のイベント「仙白園クリスマス会」に向けてのキムチ&白菜漬け作りとイベントについて話し合いをしました。今回の材料は、仙白園にちなんで仙白園の畑から大根と農業園芸センターの市民農園に植えた仙台白菜を用いました。

当日は、またまた新加入の大学生も増え、いっしょにキムチ&白菜漬けづくりに取り組みました。参加した若者の全員がはじめて漬物作りに挑戦しました。ベテランの仙白園サポーターに支えられながら、野菜の切り方や味付けのしかたを教わり、漬け物樽2つ分(白菜6玉)を上手につけることができました。また、仙白園の畑から、今年はたくさんの仙台地大根という品種の大根がたくさん取れたので、若者らしく大根をねこの形に切りそろえた煮ものづくりにも取り組みました。「きゃー、かわいい!」「食べちゃうのがもったいない。」など、話し合いながら、和気あいあいと活動をすることができました。

来週の「白菜たっぷり鍋でクリスマス会」では、仙白園メンバーの考えた白菜鍋を来場者の方たちに喜んでたくさん食べてもらえるように、会の準備を協力して進めていきたいと思います。



「うんとこしょ、どっこいしょ!
まだまだ大根は、抜けません!。」

「仙白園に久しぶりに来ました。
自分たちで育てた大根が大きくなりました。」



「わ～、大きい大根だ!大根っていうだけ
あって、大きい根っこだね。」

「何だ～!大根に、足が生えているな～!
まさに、大根足だ!」



「白菜漬けの塩加減を、長年の経験でわかるなんてすごい！さすがは、ベテラン！」



「かわいいけれど、大根をねこの形に切るのが、難しい！！」



50ぴきのかわいい大根ねこができました。やった～！



仙白園に新メンバーが加わり、23名で調理中！頑張るぞ～！



昔の人は、余すところなく、上手に調理をしたんだよ。おいしく食べる！だから「いただきます」なんだ！



来週のイベント本番の準備は、ばっちりです！たくさんのお客さんの喜んでもらえるといいな！頑張るぞ～！
たくさんのご来場をお待ちしております！待ってま～す♡

平成29年12月9日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 56



ハクリン



ハクティ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

12月9日(土)に、「仙白園クリスマス会」が行われました。この日に向けて、春から畑づくりに取り組み、夏に白菜と大根を植え、育ててきました。仙白園の今年一年の集大成です。参加者が一人一人朝からとても気合が入っていました。今年の仙白園クリスマス会の会場は、新別棟での開催だったので、会場が広く、調理器具も全部新品だったので、とても作業が楽でした。予定していた人数分の鍋物を作るための「鍋が足りない!!」など、予想外のところもありましたが、オープン30分前には、会場の外で30人以上のお客さんが列を作って、「仙白園クリスマス会」の開催を待っていていました。「すごい!並んでいる!人気のお店みたい!」など、メンバーのうれしい悲鳴が聞かれました。



今年もたくさん採れました!



今年もたくさんおいしい3種類の鍋物を作るぞ!腕が鳴る!



コンロの付け方を確認中!



加工場の職員!?



自慢の白菜をご賞味あれ!



2年ぶりに白菜クリームシチューが復活!



料理はプロに任せた方が安心だね!

急遽、和室も開放してクリスマス会会場に!



100名以上の方のお客さんで座るところが…。



仙白園プロジェクトについて、たくさんの人たちに知ってもらうことができました。



養種園の歴史や仙白園の活動についてまとめた展示物も掲示しました。



仙白園メンバーみんなで、会の成功を喜び合いました。来年も頑張るぞ!

開場と同時に、たくさんのお客さんが、会場になだれ込んできました。あっという間に、座るところが無くなってしまったので、急遽、和室も開放し、座って食べていただくことにしました。

年末の恒例イベントになった「仙白園クリスマス会」、顔なじみの方や、チラシを見たたくさんの地域の方々に、市民センターに足を運んでいただき、昨年以上のたくさんのお客さんに、とん汁、キムチ鍋、白菜のクリームシチュー、合わせて340杯分を食べていただきました。仙白園クリスマス会を終えての反省会では、予想以上の大盛況に、「頑張ってきた分だけ、たくさんのお客さんに来てもらえたね。」「来年ももっと多くの人たちに白菜を食べてもらいたいね。」と、今年一年の活動を振り返りました。

イベントを通して、「仙白園プロジェクト」をたくさんの方々に知ってもらうよい機会となりました。

イベントを通して、「仙白園プロジェクト」をたくさんの方々に知ってもらうよい機会となりました。

仙白園プロジェクト

通信No. 57



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

1月21日（日）にせんだいメディアテーク オープンスクエアにおいて、平成29年度「若者社会参画型学習推進事業」の成果報告会が開催されました。「仙白園プロジェクト・人」からも社会人1人と4人の学生が参加し、これまでの取り組みについて発表してきました。各区の成果報告のあとは、会場を変えての交流会が設けられてのフリートークとなり、取り組み内容について説明するなど他区の若者の方々との交流を深めました。



- ・他区のイベントに参加するのはなかなか難しい。
- ・区と区の垣根を越えたイベントを作れるといいよね。交流会を定期的に行けるとよい。
- ・とりあえずいろいろなイベントに参加し、楽しいイベント作りのヒントにしたいね。
- ・PRの仕方を工夫して、もっとたくさんの学生に参加してもらえるといいね。
- ・SNSの活用を検討していければよい。

<成果報告会参加者アンケートから>

①若林区の若者から、ほかの区の事業を見てどう思いましたか

- ほかの区の事業を見て、いろいろな可能性があるのだということが分かった。
- ほかの区の活動を知ることが出来て非常に良かった。よいところを自分たちの活動に取り入れていきたい。
- ほかの区の活動も地域づくりと地域の人づくりがうまくマッチングしていると思った。

②若林区発表で参考になったのは、どんなところでしたか

- 太白区 参加者：農業を学びながらも地域と接していたから。
- 泉区 参加者：地域ぐるみでの交流、特にお年寄りの方との交流が出来ていて良いと思った。
- 青葉区 参加者：食べるという活動は、誰にでも気軽に参加できるので良い。

平成30年 3月 3日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト・人

通信No. 58



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙白白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



3月 3日（土）に仙白園「スイーツづくり」を開催しました。さつまいもをふかし、皮をむいたものをすり鉢ですりつぶし、ねずみの形やいろいろな形に整え、オーブンレンジで焼いて「スイートポテト」を作りました。当日は、泉区からの若者も参加し、区を越えての交流もありました。できあがった「スイートポテト」を試食しながら、今年1年の「仙白園プロジェクト・人」の活動を振り返りました。1年間お疲れ様でした。

4月からの畑づくり、また頑張りましょう！



さすが、みなさん
手馴れているの
で、すごい！



小さいから、ねず
みの形にするのが
難しいな。



い・た・だ・き・ま〜す！



かわいい！
食べるのがもったいないくらい！

<参加者の感想から>

- ・昨年度よりも、いろいろな作物を育てることができた。
- ・交流イベントでは、のべ1000人以上の人たちに参加してもらえ、うれしかったです。
- ・地域の方々と交流を通して、たくさんのお話をお聞きすることができました。
- ・今まで知らなかった地域のことや人と関わることの楽しさを学ぶことができました。
- ・今後も、活動を継続しつつ、たくさんの繋がりを作っていきたいと思います。